



自慢の唄・踊り・演奏
芸能発表会

人口の動き ■人口 2,921人(-10) 男 1,472・女 1,457 ■世帯数 796(-6)
(3.5.31現在) ■5月中のうごき □出生1 □死亡4 □転入4 □転出11

国民健康保険 医療費が高額になったら

病気やケガでお医者さんにかかったときは、医療費の3割を自己負担しなければなりません。この額が多くなると家計の大きな負担となってしまいます。そこで高額療養費という払い戻し制度があります。この制度は、自己負担額が一定の額以上になったとき、超えた額を払い戻すというものです。

一部負担金が60,000円以上の場合
同じ人が同じ月内に、同じ病院や診療所に対して、60,000円を超える一部負担金を支払ったときは、その超えた分を支給します。ただし、住民税非課税世帯については、33,600円を超えたとき。
同じ月内に30,000円以上的一部負担金が複数ある場合
同じ世帯の人が、同じ月内に病気などにかかったりして、30,000円（住民税非課税世帯は21,000円）以上的一部負担金が複数あるときは、その額を合算して60,000円（住民税非課税世帯は33,600円）を超えた分を支給します。
年間で高額療養費の支払いが4回以上あった場合
12か月間に、同じ世帯で高額療養費の支給が4回以上あった場合には、4回目以降からは、34,800円（住民税非課税世帯は23,400円）を超えた分を支給します。

お知らせ



防火管理者 資格付与講習会

甲種防火管理者の資格付与講習会が開かれます。定員がありますから、早目にお申し込みください。
○期日 七月二十七、二十八日
○会場 小千谷地域消防本部
○受講料 一般 三、五〇〇円
 会員 三、〇〇〇円
○受付 七月一日～二十日
消防本部へ直接お申し込みください。

○定員 九〇人(定員になり次第締め切ります。)
※不明の点は、消防本部にお問い合わせください。
(☎ 八三一三三二)

おわびと訂正

先月号の広報に次のような誤りがありました。おわびして訂正いたします。
▼五ページのわが家のスターで、直人くんとなるのは、篤史くんの間違えです。

●スムーズな窓口業務を目指して 税務署の窓口を 税目別から納税者別に変更

七月十日から税務署の窓口が変更されました。

これまでは、「所得税は所得税部門」「法人税は法人税・源泉所得税部門」「消費税などの間接税は間接税部門」というように税目別に窓口が置かれていました。

今回これが、「個人は個人課税部門」「法人は法人課税部門」というように、原則として納税者別の窓口になります。

この結果、これまでは同じ人が、法人税や消費税について別々の窓口に行かなくてはなりませんでしたが、これからは一つの窓口ですむようになり、手間がかからず便利になります。

申請や相談の主な窓口

今回の変更後の、主な窓口は次のとおりです。



- ▼納税証明書をもらいたいとき
所得金額の証明の場合、個人は個人課税部門、法人は法人課税部門となります。納税額の証明の場合は、個人、法人ともに管理・徴収部門です。
- ▼納付書をもりたいとき
納付書用紙は各窓口で備えつけてあります。
- ▼個人で商売を始めたとき
個人課税部門にご相談ください。
- ▼消費税についての相談は
個人は個人課税部門、法人は法人課税部門にご相談ください。
- ▼源泉所得税についての相談は
個人、法人ともに、法人課税部門(源泉所得税担当)にご相談ください。
- ▼延納などの納税の相談は
管理・徴収部門にご相談ください。

なお税に関する相談窓口として「税務相談室」が設けられています。忙しい方や遠隔地の方のために、電話による相談「テレホンサービス」も行ってまいります。是非、ご利用ください。
税務相談室長岡分室
☎三三二五二二

山古志村保健福祉医療計画

『住民参加で明るい村づくり』

健康は生涯を通じて、やすらぎと生きがいのある暮らしを守るための基本であり、すべての人間のねがい、幸せの根本です。

人口の高齢化や出生数の減少などで、保健・福祉・医療に対するニーズが多様化しています。そのため包括的なサービスを供給する体制が必要になってきます。

山古志村でも、平成元年から住民参加による作業を進め、すべての村民が健康で明るく活力に満ちた村づくりのための計画をつくりました。

この計画は、児童生徒が心身ともに健全に育ち、働き盛りの年代層が健康で働ける体制や高齢者、障害者等が安心して生活できる環境づくりなど、生涯を通じた総合的なものです。

計画期間は平成3年から平成12年までの10ヶ年計画です。



妊産婦

妊婦の現状などの情報収集に努め、保健指導用テキストの作成や母子推進員の再教育を実施し、保健推進員活動（H4年）。新たに歯科検診（H3年）も行います。

乳幼児期

母親同志の交流を活発化させ、情報交換、発育状況の比較等、育児の考え方の向上を図る。とくに二歳児の虫歯予防を強力に進める。



視聴覚検査を新に実施し、要観察者のフォローとして、関係機関との連絡会を発足させる。また、健診時に母親との面接を行うなど、子育ての支援や保健指導の充実を図ります。未受診者への訪問指導を行います。保育所入所児の保護者の意識調査を実施し、乳児保育、延長保育、学童保育導入など検討します。

少年期

青年期

結婚前、結婚後、育児期など、よい家庭を築く意識づくりを進め、さらに、健康づくりへの意識づくりを高めるため、青年、消防団を対象とする実態把握の意識調査、体力測定、健診等を実施（H4年）し、各目標を設定しての実践活動を始める。

婦人（四〇歳未満）の健康づくり事業（H3年）を、五ヶ年継続して行い、健診結果から目標を設定しながら、健康教育を実施、その効果判定を行う。精神保健相談会は成壮年期と同実施する。

成壮年期

食生活の改善・運動の普及・休養のとり方・禁煙教育などの生活

村議会 6月定例会

村道認定など 16議案を可決承認

平成三年村議会第二回定例会が、六月十八、十九日の両日開かれ、議案十一件、報告二件、発議三件が、それぞれ原案どおり可決承認されました。主な内容は次のとおりです。

条例関係

▼高齢者住宅整備資金貸付条例の一部改正
貸付限度額を二百二万円から「二百八十一万円」に引き上げました。

▼国民健康保険条例の一部改正
保険料の課税限度額が四十二万円から「四十四万円」に、低所得者の保険料算出の控除額が二十一万五千円から「二十二万円」にそれぞれ引き上げました。

▼村議会委員会条例の一部改正（議員提出議案）
議会に議会運営委員会を置くものです。

村道の認定・廃止

▼村道の認定・廃止及び認定変更
梶金中央線の認定、小松倉一号線の廃止、梶金木籠線他九線が、道路改良などで路線変更が認定

その他

▼土地の取得
農村自然休養地建設用地九・四ヘクタールの土地取得が承認されました。

補正予算

▼平成三年度一般会計（第一号）
六、九〇〇万円を追加し総額は十九億八、二〇〇万円となりました。

- 歳出の主なものは、次のとおりです。
- 民生費 四七二万円
- 農林水産業費 一、〇六一万円
- 土木費 一、〇二九万円
- 教育費 五〇三万円
- 災害復旧費 三、三七一万円
- 歳入では、国庫支出金一、一四七万円、繰入金一、三五〇万円、繰越金一、九五九万円、村債一、一三〇万円などが追加されました。



萱峠牧場

33頭放牧

村営萱峠牧場に例年どおり六月一日に放牧が行われました。

昨年、一部草地改良も行われ、牧草も良く繁っています。六月二十日現在の放牧頭数は、親牛十八頭子牛十四頭、種雄牛一頭の三十三頭と、前年より十頭多く放牧されています。放された牛は、緑一色のなか気持ちよさそうにかけ回っており、秋の下牧までの成長が期待されます。

牧場内は関係者以外「立ち入り禁止」となっていますのでご注意ください。



習慣の改善を進め、一次予防対策教育を実施します。

成人病対策（がん・糖尿病など）健康診査の充実を図りながら、未受診者への訪問活動（H3年）を行い、受診率の引き上げを図る。継続した健康管理の体制整備を進めるため、コンピュータシステムの導入（H4年）を行う。

また、増加している疾病の原因分析を、健診、事後指導会、家庭訪問等で調査（H4年）を始め、各疾病の予防対策を強化する。歯周疾患の早期発見、早期治療を行うため、一地区二か年で健診を行う。

疾病者、障害者への適切な支援体制を地域で取り組む。家族の学習会や家族会の設立（H4年）を目ざす。

老年期

ねたきりや痴呆等の原因疾患の予防教育を始め、保健婦の訪問指導の強化や、村診療所による訪問看護（H5年）を行う。

要援護高齢者の実態や介護家族のニーズを把握し、在宅福祉サービス制度の普及やホームヘルプサービス事業の充実を図り、介護者の負担軽減を行います。

また、介護を必要とする高齢者の居宅生活を支援する、デイサービス拠点施設、高齢者生活福祉

心身障害者

就労の場の整備や団体の育成強化を図る。

生活環境整備

簡易水道の整備、環境の美化（空き缶散乱防止）運動の推進や生活雑排水・し尿の合併処理浄化槽設置（H5年）を普及する。

医療体制の整備

内科診療所に、耳鼻喉科、眼科の併設（H5年）する。また、訪問看護専用車購入や、看護婦の増員を図り、訪問看護を実施（H5年）する。歯科診療所による、訪問歯科検診を開始（H4年）します。

その他

社会福祉協議会の充実を図り、福祉サービスを供給する。高齢者サービス調整チーム、にこにこ会、食生活改善推進委員会等、各種団体の組織の育成を行います。



ゲートボール大会 上位独占 竹沢チーム

去る六月七日山古志中学校グラウンドで、山古志村ゲートボール連盟選手権大会（兼、竹沢郵便局長杯争奪戦）が行われました。当日はさわやかに晴れあがり、絶好のコンディションのなか、各地区から十一チームが参加。三コートに分かれて、リーグ戦方式で戦いが始まりました。試合ともなると、日ごろの練習のようにはポ

ールが進んでくれません。そのうち相手チームの防衛もはいりませぬ。このため個人の技術も大切ですが、作戦とチームワークが重要となります。試合が進むにつれ、したいに熱が入ってきます。ボールを打つ本人はもちろん、声援も興奮気味となります。

朝十時から夕方四時まで、昼食休みの一時間を除き、休みなく熱戦が続けられ、結果は次のとおりです。

- 優勝 竹沢Bチーム
- 準優勝 竹沢Cチーム
- 三位 竹沢Aチーム



▶坂牧貞子・坂牧かおるさん

天神ばやしなど 熱演・熱唱

民俗芸能発表会

六月二十三日の日曜日、第十六回民俗芸能発表会が村民会館で開催されました。今年、きさらぎ会（竹沢）や池谷小学校児童も新たに加わり、十四団体が出演しての発表会となりました。また昔から祝いの席などで歌いつがれてきた、天神ばやしに振付が行われ、この日のために練習に取り組んできた、天神ばやし

の踊りが初めて披露されました。観衆も大ホール満員となる三百五十人がつめかけ、昨年を上回りました。午後一時開演。オープニングでは、池谷小学校全児童による金管合奏、山古志中学校吹奏楽部の金管アンサンブル、竹沢小学校高学年の樽ばやしなどで始まりました。第一部「花のステージ、民謡の



◀天神ばやし（笹美会と渡辺先生）



◀つばき会



◀あやめ会



◀四葉会



▶青木ひとみさん



▶きさらぎ会

虫亀小学校で 合同運動会



さる六月九日（日）虫亀小学校で、地区民・公民館・学校合同の運動会が行われました。

当日は朝から晴天に恵まれ絶好の運動会日和。紅白に分かれての競技が続きます。友達や父兄の声援を浴び、各種目や応援合戦に張りまくりました。保育所園児、老人クラブや地区民の種目も組み入れられ、終始なごやかな雰囲気で行われ、楽しい一日となりました。最近、児童の減少で地区など

東竹沢小学校 交通安全で 表彰

東竹沢小学校が、交通安全教育を推進したことにより、長岡警察署長と長岡地区交通安全協会長から表彰されました。六月十九日の朝礼で全校児童に紹介され、井川校長先生は、「みなさんが一列に並んで登下校し、交通事故防止にがんばったことが認められて表彰されました。これからもいっそう注意して事故のないように」と話されていました。



スター

政宏くん ★★★★★ わが家の

平成2年3月15日生まれ 西原清七・たき子さん（長男）
虫亀

わが家のスター政宏です。1歳3か月になりました。最近お姉ちゃんと遊んだり、けんかをしたり、水わさばかりするやんちゃざかりです。食欲も旺盛で色々な物をたべます。このままケガなどせずに、丈夫に育ってほしいと願っています。



3年度公共土木事業計画

次のとおり国・県の工事が村内で行われます。ご協力をお願いします。

路線名・事業種類	工事内容等	場所(地区)	所管
国道291号線	道路改良 特殊改良第一種 防雪対策(新規) 道路改良(中山トンネル)(新規) 災害防除	竹沢 金倉 小松 小松 小松	土 木 事 務 所
国道352号線	道路改良 道路改良	種芋原 種芋原	
主要地方道 柏崎高浜堀之内線	緊急地方道整備 辺地道路改良 防雪対策 交通安全施設	虫籠木 木籠木 橋谷	
主要地方道 栃尾山古志線	緊急地方道整備 緊急地方道整備(新規) 災害防除(新規)	池谷 種芋原 池谷	
河川総合開発事業	市町村代行道路改良	虫籠木 池谷	
通常砂防事業	赤羽根川ダム(新規) 三石川ダム(新規)	虫籠木 虫籠木	
地すべり防止 対策事業	朝日川区域ボーリング 油夫川区域集水井・ボーリング 城山区域 "	間内平 油夫原 種芋原 虫籠木	
地すべり防止 対策事業	虫籠木区域(新規)	虫籠木	
地すべり防止 対策事業	下平地区 尼谷地区 東金地区 西山地区 山中地区	虫籠木 種芋原 虫籠木 種芋原 種芋原 種芋原	
復旧治山事業	防雪対策(新規)	桂	
なだれ防止対策事業			農地事務所 林業事務所

普及所から 農改コーナー

稲の生育中後期の管理

現在の生育状況は、草丈は並ややや長め、茎数は並ややや多め、葉令はやや進んでいる稲姿になっています。また、幼穂形成期、出穂期は早生で三、四日、中生で二日程度平年より早まる予想になっています。穂肥管理、病害虫管理を遅れないようにしましょう。

〈幼穂形成期、出穂期予想〉

(6月16日現在の予測)

品 種	幼穂形成(月・日)	出穂期(月・日)
セキキワ	7.3	7.26
早生	7.3	7.25
早生	7.2	7.26
早生	7.6	7.30
カネ	7.12	8.5
カネ	7.9	8.1
カネ	7.4	7.26

注①適用移植期

稚苗……5月5日～10日
中苗……5月10日～15日
成苗……5月15日～20日

②農業試験場気象感応圃における

ふるさと グルメラウンド

去る六月十三日から十八日の六日間、新潟市の伊勢丹デパートで「にいがたふる里展」が開かれ、山古志村も参加しました。

この催し物は、農山村と都市との交流を通じて相互理解を深めるため、昭和六十一年から実施されているのもです。

今年も、市町村紹介の特設コーナーが設けられ、パネル、写真、特産品、パンフレットなどを利用してPRを行い、「ふるさとグルメラウンド」と食物を主とした、地域自慢の特産品の販売が行われました。

山古志村も伝統料理や特産品として「こいこく・こくしよつ」として「こいこく・こくしよつ」



けな煮」などの缶詰類、「こいの甘露煮・ぜんまい煮・棒だら煮」などのバック詰、「越のかくもち」を展示販売しました。

試食しながらふるさと味の味、昔なじみの味を思い出して大量に購入して行くお客さんもありました。

各市町村とも、にわか仕込みの店員が多く、それぞれ自慢の特産品のPRや販売に汗だくの奮闘でした。

九月十九日から二十四日に、わがむらわがまち自慢の逸品まつりが、新潟市の大和新潟店で開かれる予定です。機会があったら一度訪ねてみたいかがでしょうか。

はしご車に 試乗体験

山古志中学校 竹沢小学校



去る五月二十九日山古志中学校、三十一日竹沢小学校の火災訓練などに合せて、小千谷消防署からハシゴ車が両校にきました。

高層ビル火災時などに活躍する、高さ二十四メートル級(七階建に相当)のハシゴ車に、消防署係員とともに、児童・生徒の代表がヘルメット、腰にロープを固定しての体験が行われました。

一段・二段目と自動的にハシゴが伸び、早くも校舎を超えていきます。三段・四段目と伸びて二十四メートルの高さに達します。地上二十四メートルの高さでは横を向くだけでやつのようので、降りてはとす姿が印象的でした。

竹沢小学校六年生の星野智支くんから感想を述べてもらいました。

「はしご車に乗る四人は、ジャンケンで決めました。

いざとなるとむねがドキドキします。しばらくして、乗っている所が、動き始めました。あつというまに一番上につきました。まわりを見ると、一番めだったのは焼山でした。

下の方を見ると人が、赤んぼうのように見えました。」

虫籠小PTA 金倉に 遊歩道開放



六月二十三日虫籠小学校の学校林から山頂に向けて、遊歩道の開設が行われました。

当日は、鎌、ナタ、チェーンソーなどを持ってPTA全員が参加。

約四百メートルに渡る伐開作業に一日がかりとなりました。これにより山頂にある遊歩道とつながりました。

また、学校林内の子供広場に立木を利用した、ブランコ、綱渡りなど、遊具の取り付も行われました。

金倉山頂には展望台もあり、家族づれのハイキングコースとなっています。

交通死亡事故ゼロ 五、〇〇〇日達成

交通事故はここ数年増加傾向にあり、昨年は県内においても二六四人の尊い人命が失われるなど、極めて厳しい状況となっています。

このようなかた山古志村においては、住民の交通安全意識や関係者の積極的なご協力により、今年六月二十六日に死亡事故ゼロ五、〇〇〇日を達成することができました。

この記念式典が次のとおり行われます。

○日時 七月二十三日(火)
午後一時

○場所 山古志中学校体育館及びグラウンド

○主催 山古志村、山古志村交通安全協議会

※県警音楽隊などの演奏及びヘリコプターの飛来が予定されています。

る予測である。

③田植日が五日程度前後すると出穂時期が一日前後します。

・この予想は平坦部の場合です。山古志村の場合は、四、七日程度遅くなると思います。早生で三、四日、中生で二日遅くなることを目安に管理してください。

〈追肥〉

・中間追肥
出穂前(35、40日)七月上旬頃に十アール当たりケイ酸カリ二十〜四十kg施します。これにより根を健全に保つことができます。

・穂肥
一回目の時期は、コシヒカリで出穂十八日前、トドロキワセで二十三日前がめやすです。チッソ成分で十アール当り一〜二kgが目安です。カリと合せて施しましょう。

〈病害虫対策〉

・イモチ病
補植苗は発生源になりますので取り除きましょう。葉イモチは発見したい防除しましょう。穂イモチは予防が基本です。出穂直前と穂揃い期に粉剤散布をするか、コラトップ粒剤を十アール当たり四kgを出穂前十五日頃散布してください。

・害虫防除
天候が良いため、発生が早まっています。適期防除に心がけてください。(三古農改・長岡班)